

港区派遣型一時保育・育児支援家庭訪問 あい・ぽーと子育てサポート事業

利用会員の皆様へ カバイ通信 第37号

「カバイ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「ありがとう」という意味です。この事業は、ニュージーランドのプレイセンターの活動に学ぶ面もあって、マオリ語を用いています。

2015年8月15日

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美

住所：〒107-0062

東京都港区南青山2-25-1

電話：03-5785-1577

FAX：03-5786-3264

「カバイ通信」は、2月・5月・8月・11月との15日に発行します。

ホームページから、ご覧になれます。<http://www.ai-port.jp/>



◆◆利用会員・支援会員の皆様からのお声◆◆

～利用会員より～

- ・同じ支援会員様に来て頂き早や4年半。いつも慌ただしく追われている私に、大変どっしりしなやかに、柔軟に対応して下さい、本当に心強い限りです。主にみて頂いている下の娘にとっては家族のような存在、深謝！

(T.Fさんより)

- ・いま小2の息子が生まれたときからお世話になっています。初めての子どもで、私一人でお風呂に一緒に入るのすら不安だった新米ママのわたしを励ましてくださったり、出かける時には預かってくださったり。子どもが大きくなり保育園へ入園するとともにお預けすることもなくなって数年経っていましたが、小学生になって、少し離れた場所への習い事への送迎という形でまたお世話になっています。悩みや迷いがあるときには聞いていただき、温かく励まして頂いたり、導いて頂くなど、折に触れ人生の道標にもさせていただいています。

遠くの親戚より近くの他人といいますが、それこそ親戚以上に頼りにさせていただいています。

(N.Sさんより)

～支援会員より～

- ・あい・ぽーとの扉を開けたら、奇跡のような出会いが待っていました。ママのお仕事中、4歳のY君と作る線路や駅は、二人だけの秘密の新幹線です。素敵なママから教わることも多く、光栄なご縁に感謝する毎日です。

(Y.Nさんより)

- ・初めてのお子さん(8ヶ月)ママと「あっ歩いたね」と感動して笑い喜び、時には悩みながら、今2.8歳です。「さようなら」の涙はたまりません。これからも支援者として親子さんに寄り添い、ゆとりある子育てになるようにお役に立てたら、嬉しく、幸せです。

(K.Kさんより)

◆◆利用会員さまへのお願い◆◆

支援者をご紹介出来ない利用者の皆様へ

派遣型一時保育事業の支援会員として活動して下さい「子育て家族支援者2級」の新たな認定者が、誕生しました。事務局では、まだご要望にお応え出来ない利用会員の皆さまに、新たな支援者さんをご紹介させて頂いております。

まだ、支援者をご紹介出来ない不定期での利用を希望されている方の中で、利用したい日が確定されている場合は、事務局までお知らせください。ご希望の日で、支援者をお探し致します。

これまで、不定期でのご利用希望で、ご紹介が出来なかった利用者さんにも、利用日を確定してからお探ししたことで、支援者をご紹介出来たケースもございます。必ずご紹介出来るとは限りませんが、出来るだけ、皆様のご要望にお応え出来るように、努めて参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い致します。

9月から派遣型一時保育の支援者養成講座が開講します

港区と協働で実施している派遣型一時保育事業の支援会員を養成する講座が9月から開講します。お知り合いの方で、地域の子育て家庭のために活動をしたい、とお考えの方がいらしたら、是非ご紹介下さい。まだ、利用会員に対して支援会員の数が足りない状況が続いております。皆様のご協力をお願い致します。又、12月には新たな支援者が誕生予定です。依頼内容の変更や確定したご依頼等もありましたら、事務局までご連絡下さるようお願い致します。

※「カバイ」通信は、8月、11月、2月、5月の15日に発行しますので、ホームページからご覧下さい。[\(http://www.ai-port.jp/\)](http://www.ai-port.jp/)尚、ご覧頂けない場合は、FAX又はご郵送いたしますので、お手数ですがお電話にて事務局までお知らせ下さい。

